

話題

街にひろう

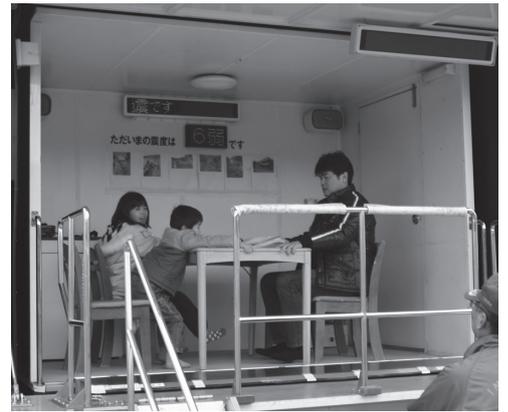
安全安心なまちを目指して

1月18日、市中央生涯学習センターで「うしく防災ワールド2009」地域へ明日へ広げよう「防災の輪」が開催されました。

あいさつに立った池辺勝幸市長は「災害のときは被害者であると同時に救助者にもならないといけない」と、助け合いの輪の大切さを訴えました。

続いて防災システム研究所所長山村武彦さんが「最近の災害に学ぶ『今日からできる自主防災』」と題して講演会を行いました。

山村さんは自主防災について、「何を守るか、大切にするかを明確にすることから始めなければいけない。1000年に1度の災害が明日来るかもしれないという前



起震車での地震体験

提で備えをしていくことが重要だ」と語り、地域・隣近所での防災への備えや助け合いの必要性を力強く訴えました。

会場の外には、はしご車体験や震度7まで体験できる起震車コーナーも設置され、多くの家族連れが集まりました。起震車を体験した子どもたちは「震度4と5ではだいぶ揺れが違って驚いた」と話し、地震の怖さを身をもって体験しました。

また、防災用品の展示・販売コーナーでは、特に住宅用火災警報器の販売所前に多くのお客さんが集まりました。防災や危機管理に対する意識を高め、各家庭や地域の自主防災活動の重要性について認識を深めた1日となりました。

STOP! 地球温暖化

2月7日、市保健センター研修室で「地球温暖化防止講演会」が行われました。この日は「低炭素社会に向けた12の方策」と題し、(独立行政法人)国立環境研究所の藤野純一さんによる講演がありました。

地球温暖化に関係の深い二酸化炭素を減らすには、行政によるルール作りや市民の消費生活の見直し、また企業も省エネ製品を開発するなど、お互いが一体となって役割を果たしていくことが必要

くらしの便利帳共同発行へ

2月16日、市役所への各種届出証明書の交付や福祉などの行政情報、地域情報や企業の広告などを盛り込んだ「牛久市くらしの便利帳」の調印式が牛久市と㈱サイネックスによって行われました。

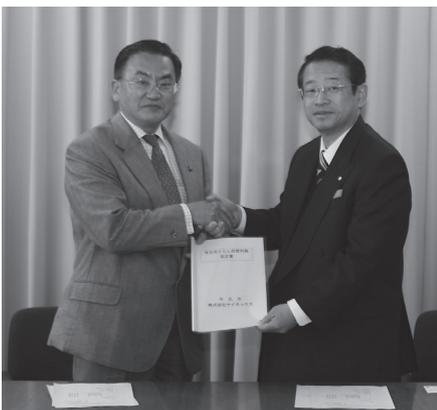
今回の便利帳作成は、市民の暮らしに役立つ行政情報を提供する目的で市役所内に組織された「戦略的広報特定プロジェクト」の各部プロジェクトメンバーにより、調整を図りながら進められています。



地球温暖化を語る藤野さん

だと、持続可能な社会への転換を訴えました。参加者からは「家全体のエネルギーを見る計器はあるのか」などの質問が出て、環境問題への関心の高さが感じられました。

この便利帳は、A4サイズ、フルカラーの約160ページで、7月に発行を予定。市内全世帯に配布し、転入者には随時配布する予定です。



池辺市長と(株)サイネックスの村田社長(右)

ふしぎだなそれが科学の第一歩

2月14日、市中央生涯学習センターで「うしくサイエンスフェスタ2009」が開催されました。

大講座室では、標語コンテストに応募のあった市内小中学生の作品の中から10点が表彰され、最優秀賞は渡邊眞生さん(向台小学校5年)の「ふしぎだな それ科学の第一歩」が受賞しました。

「カップ大交流会」と題した学校ピオトープから始まるまちづくり事業報告会では、市内小中学校代表(岡田小学校、牛久第二小学校、牛久第三中学校、下根中学校)による発表が行われました。子どもたちは、生きものも人も喜ぶ牛久



子どもたちによる事業報告

市を目指して、谷津田や学校の周りを調べてその成果を街づくりにかかっています。

また、多目的ホールなどで行われた「サイエンス・ラボ」では、発明クラブによる折り紙を使った「紋切り」(工作)、牛久自然観察の森による顕微鏡とツバキの花を使った「自然を身近に感じよう!」(観察と工作)や牛久南中学校による「炭のパワーを体験しよう」(実験と工作)など、たくさんの科学実験教室に大勢の子どもたちが参加。会場は、科学に触れ合おうと家族連れや友達同士でにぎわいました。



2進表示温度計を作る子どもたち

男女共同参画公開講座



言葉と食育を語る木村さん

1月31日、市保健センター研修室で「男女共同参画公開講座」が開催され、講師には川崎市で葉膳レストラン『いな田』を営む木村まさ子さんをお迎えしました。「育みはぐくまれ」と題した講演では、ご自身の子育ての経験から感じる言葉と食育の大切さについて分かりやすく語りました。

お子さんに小さいときから「いただきます」「ありがとう」という言葉の大切さを教えていたという木村さん。「思いやりの言葉、感謝の言葉が、人を結ぶ、家族を結んでいく、命が子どもに受け継がれ、また次の世代に受け継いでいく」と言葉と命の大切さを強調しました。参加者から積極的に質問が出るなど、男女共同参画のすそ野を広げるのに役立つ講座となりました。

我が家のきずな調印式

1月30日、「我が家のきずな」調印式が行われました。「我が家のきずな」は、農家が家族一人ひとりの役割や責任を話し合って決めたルールを文章にしたものです。家族全員が協力しなければ成り立たない農業は、男女共同参画の最先端分野。それぞれが意欲を持ち、十分に能力を発揮できる環境づくりを目指します。

今回は新たに14組の家族が締結し、牛久市の締結数は41件となりました。当日は、齋藤章副市長と松本幸衛氏(稲敷地域農業改良普及センター長)の立ち会いの下、終始晴れやかな雰囲気の中で調印が行われました。



14組の家族による調印式

読み聞かせボランティアへ感謝状



感謝状が贈られたボランティアの皆さん

2月2日、市中央図書館で、読み聞かせボランティアをしている約100人が参加し、「読み聞かせボランティア感謝状贈呈式」が行われ、池辺勝幸市長から6人に感謝状が贈られました。(写真右から八木ミチ子さん、羽鳥鶴枝さん、古林久さん、池辺市長、浅野久子さん、梨本昭子さん、内藤住子さん)

式典の後、幼稚園教諭としても活躍中の月下和恵さんによる読み聞かせ講習会が行われました。話し方や歌い方、絵人形の貼り方・はずし方などを「パネルシアター」を上演しながら、参加者に伝えました。

子どもの安全確保に関する基礎セミナー

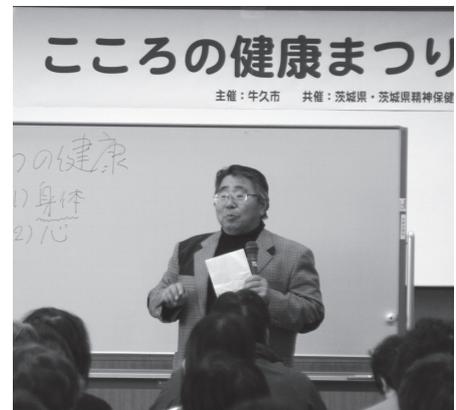
2月1日、市保健センター研修室で「子どもが安心して心豊かに育つ地域づくり・子ども育成」をテーマにした基礎セミナーが開催され、子どもたちの登下校の見守りをしている市防犯連絡員、自警団、民生委員・児童委員、PTA役員など130人が参加しました。

千葉大学中村攻名誉教授の基調講演では、「犯罪防止には高齢者の方や親たちが地域に関心を持つて楽しく子どもを守る対策を進めることが必要である」と説明しました。そのほかに、日立市や奈良市などの事例発表、パネルディスカッションが行われ、有意義な研修会となりました。



中村名誉教授による基調講演

個性を大切にしよう



心の健康を語る長谷川先生

1月18日、市保健センター研修室で「こころの健康まつり」が開催されました。

始めのあいさつで、池辺勝幸市長は「精神的な障がいのある無しかかわらず、お互いに理解を深めていくことで、みんなが生活しやすい社会になる」と述べました。

茨城大学准教授の長谷川幸介先生による「たかめよう！こころの力、ひろげよう！こころの輪」と題した講演では「1番の心の健康は多くの人とかかわりを持つこと。他人と比べることなく、障がいは1つの個性だと思うようにしてほしい」と述べました。

さらに、「心の健康をつくるためには『たまり場』のような交流の場

が地域に必要である」と提案しました。

続いて講演に立った茨城大学講師の外岡仁先生は江戸時代の「生き生きとした生き様」などを例に楽しく話をしました。

講演後には、心の健康相談コーナーやアルコール体質判定、市内福祉事業所による手工芸品や焼き菓子などの販売コーナーも設置され、参加者は心の病気や障がいに関する理解を深めました。

オリンピックの感動を

北京オリンピック女子トライアスロンに出場した庭田清美選手から、オリンピックで使用したウエアと帽子が市に寄贈されました。牛久運動公園内の1階事務室前に展示してありますのでぜひご覧になり、オリンピックの感動を思い出してください。



庭田選手のウエアと帽子

プロ野球セントラル

リーグ審判員誕生

平成21年度から牛久野球連盟所属審判員大和貴弘さんが、プロ野球セントラルリーグ野球連盟に採用されます。大和さんの人柄とグラウンドにおける機敏な行動と適切な判断力、明快なジャッジが選手の手プレーを一層活発にすることを願っています。

プロフィール

氏名 大和貴弘(やまとたかひろ)
所属 牛久野球連盟

経歴 1984年生生まれの25歳

帝京大学4年時に米国のジム・

エバンス審判学校へ審判留学し、

帰国後プロ審判テストを受ける

が失敗。この年、牛久野球連盟

審判部に登録。2年間研究と努

力と精進を重ね、平成20年度か

らセ・リーグの審判研修員とな

り、超難関・採用1名枠の切符

を手に入

れ、

プロ野

球審判

員とな

りました。



県民駅伝大会健闘！

牛久走友会第6位入賞

12月13日、水戸市の笠松運動公園内のコースで、「第25回茨城県民駅伝競走大会」が開催され、牛久市から選ばれた中高生を含む選抜メンバーが市町村対抗戦に挑みました。健闘しましたが、結果は惜しくも22チーム中16位でした。

一方、クラブの部では牛久走友会Aチームが前年より記録を上げ、26チーム中6位に入賞しました。第26回大会はさらなる好記録を目指して頑張ります！

県大会で牛久市スポーツ少年団剣道準優勝

1月18日に茨城県武道館で開催された「第31回全国スポーツ少年団剣道交流茨城県大会」で、牛久市スポーツ少年団剣道競技団が準優勝という優秀な成績を収めました。

【団体の部】

先鋒…大木(牛久剣友会)

次鋒…大山(清流剣友会)

中堅…駒田(清流剣友会)

副将…峰添(若竹剣友会)

大将…山口(清流剣友会)

(敬称略)



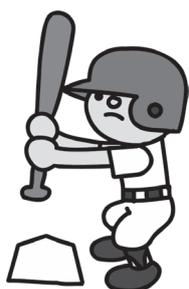
牛久市から参加したランナーの皆さん



見事準優勝した少年団の剣士の皆さん

牛久市野球スポーツ少年団平成20年大会

大会名	優勝	準優勝
第29回新人戦	牛久ティガース	牛久中根サンダース
第29回春季大会	牛久中根サンダース	刈谷イーグルス
第29回秋季大会	刈谷イーグルス	奥野ライナース
第8回ジュニア大会	牛久中根サンダース	刈谷イーグルス
20年度牛久市長杯	刈谷イーグルス	
取手市大会	刈谷イーグルス	
利根町大会	刈谷イーグルス	
日刊スポーツ新聞社杯	奥野ライナース	



バドミントンチャンピオンフェスティバル大会

部門	優勝	準優勝	第3位
男子A	杉田・百武	中井・島田	藤森・藤森、佐原・吉田
男子C	石橋・江藤	谷口・坂本	高瀬・清水、落合・遠藤
男子D	張谷・石塚	山越・幸田	本橋・松島、寺林・川井
女子A	小林・野尻	桑原・林	遠藤・伊野
女子B	早野・大和	飯島・浮田	藪崎・寺門
女子C	戸田・江川	平井・金澤	北山・松井、輿水・宮本
女子D	棚橋・小川	吉田・岡田	松浦・横田、高位・榎本
小学生	松浦・武者	沢田・高橋	高橋・佐藤

<12月21日(日)牛久運動公園
50ペア参加>

(敬称略)



スポーツチャンピオンフェスティバル大会

牛久市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会

部門	優勝	準優勝	第3位
男子	牛久ミニバス	神谷ミニバス	岡田ミニバス
女子	牛久ミニバス	向台ミニバス	ワイルドキャッツ

<12月14日(日)牛久運動公園>



牛久ミニバス(男子)

バレーボール大会(スポーツ少年団)

優勝 ホクレア
準優勝 おくのA
第3位 ファイターズ
第4位 おくのB

<1月25日(日)牛久運動公園体育館>



牛久ミニバス(女子)

短歌・俳句・川柳コーナー

氷雨でも春がすぐそこ鳥の声

刈谷町 小山さん

湯西川雪のかまくら神宿る

さくら台 二国さん

水仙に秘する喜びうちあける

女化町 清水さん

年重ね小女に戻る雛まつり

栄町 増田さん

陸橋に立ち初富士遠く輝けり

田宮 岡村さん

初春に健康祝う八十路かな

久野町 酒井さん

耕され河童水田春支度

ペンネーム たんぼぼさん

ちよつと
休憩
びれいく

C.I. 皆さんの
お便りから



南・犬塚さん

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1「広報うしくちよつと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp